

# 日本のスタートアップ・エコシステムは 次のステージに進むことができるか —スタートアップ政策の新展開—

石井 芳明

### 目 次

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. スタートアップの政策的意義   | 4. スタートアップ育成5か年計画        |
| 2. 現在のスタートアップ支援策   | 5. スタートアップ・エコシステムの形成に向けて |
| 3. スタートアップ政策の更なる強化 |                          |

スタートアップは、新しい事業に取り組み、成長することを目指す企業である。イノベーション創出の担い手たるスタートアップをしっかりと支援し、スタートアップ・エコシステムを形成することで、新しい技術やサービスが社会実装され、人々の暮らしが豊かになる好循環を作り出すことが「新しい資本主義」の実現につながる。官民一体でスタートアップ支援を強化したい。

## 1. スタートアップの政策的意義

超高齢化社会の到来による生産年齢人口の縮小、社会における格差と不公平感の拡大、パンデミックとの共存、不安定な国際関係の継続、待ったなしで迫りくる地球環境問題など、様々な課題に私たちは直面している。これらの課題を解決する、または、課題と対峙する手段を得ることが、豊かな社会を実現するための必要条件である。そして、そのためには、これまでの既定路線を超える新たな挑戦による価値創出、すなわち「イノ

ベーション」が必要である。

イノベーションを創出し、新しい技術やサービスを社会に実装していくことで、社会は次のステップに進んでゆく。実際、蒸気機関や機械の導入に端を発する産業革命、コンピューターの利用拡大によるデジタル革命は社会の仕組みを変え、人々の暮らしを変えている。原始の狩猟社会から、農耕社会、工業社会、情報社会へとイノベーションにより人々の暮らしは発展し、今、多くの課題に直面する私たちは、次の社会のあり方に貢献するイノベーションを模索している。



石井 芳明 (いしい よしあき)

経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室長。1987年岡山大学法学部卒業、2000年青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程修了、修士（国際経営学）、2012年早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程修了、博士（商学）。1987年通商産業省（現経済産業省）入省、中小企業政策、産業技術政策、地域振興政策、産業組織政策、スタートアップ政策に従事。2021年より現職。